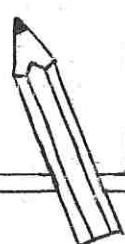




11月は一段と気温が下がったり、流行性の下痢嘔吐により体調を崩す子が多かったです。元気になって保育園に登園してくる姿を見て、担任一同喜びんでいます。12月に入り、さらに気温が下がってくると思えるので、衣服・室温の調整や子どもたちの体調チェックなど引き続き気を付けていきたいと思えます。12月はクリスマス時期に入ってくるので、保護者の皆さんも体調には気を付けてくださいね!

ひかり展では... お忙しい中お越しいただきありがとうございます!お散歩マップや写真を通して子どもたちの生活場面や遊びなど、普段とは異なる様子を見ていただくこともできたかなと思います。懇談会で少しお話ししました。子どもたちは「ジブンデ」できるようになってきたと感じています。例えば、保育者が「Tシャツとズボン取ってきて」と伝えると、ロッカーから一生懸命探して取ってきます。Tシャツではなくズボンを2つ持ってきちゃうという子どももいますが、もう一度「ズボンはないかな、してTシャツ持ってきて」と伝え、子どもたちは「ジブンデ取り」に行きます。4月～5月生まれの子どもたちも帽子を「ジブン」のロッカーに片付けたり、パンツやズボンを「ジブン」の袋まで取って来たりします。「できたね」と声をかけると、満足気にニコッと笑って帰ります。

まだまだ大人の手助けは必要ですが、全部大人がしてしまうのではなく、子どもたちが「ジブンデ」やってみて、間違えて(子どもはできていないから)行一回やってみて... その子どもたちに対し「惜しいね、行一回してみよう」と声をかけて見守る時間。そして最後には「できたね!」と一斉に喜び、時間を大事に閉めています。



### 梅小路公園にレッツゴ~!!

たんぽぽのグループでは秋になり外で遊ぶことのできる気候になったので、梅小路公園によく遊びに行っています。芝生の広い空間では保育者と赤ちゃんと一緒に身体を動かすことを楽しんでいます。ボールを使ってコロコロと転がしたボールを遠くまで飛ばしたり、シャボン玉を飛ばすと捕まえるように手を伸ばしてジャンプをしています。保育者とのマタタリ遊びが大好きで、月令問わず「キャー」と笑い声をあげて逃げています。杯の作り置きは、保護者の皆さんに作っていただいたペットボトルバッグを持参し、トシツリや落ち葉、木の枝を拾っては自分のバッグに入れています。まだまだ自分で見つけたい子が多いので、見つけやすいようにたくさんドングリが置かれた場所へ子どもたちを誘い、拾って入れる楽しさを感じてもらっています。集めるのが好きな子はペットボトルバッグの中身がいっぱいになるまでドングリを入れます。出たおやつは好きな子はある程度入るとジャンプと流石の楽しさを感じています。梅小路公園からは電車もたくさん見えて、いつか帰る前に電車を見て帰っています。電車が通る度に「バイバイ」と手を振り、「ありあつ!」と指を差して保育者に伝えて帰ります。

子どもたちのしたいことや習い事に合わせて同じ公園でも場所や活動内容を変えて遊ぶ中で大人と赤ちゃんと一緒に身体を動かしたり、散歩をして「あつね!」と共感することを大事にしています。

